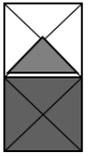


算数・数学科 小学校第3学年カリキュラム

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年での学習事項	備考 ■実践例 ◆課題
4	かけ算 (1) かけ算のきまり (2) 0のかけ算	A (3) アイウ	10		小学校第2学年 「かけ算 (1) (2)」 ・かけ算の意味と記号 ・単位量のいくつつ分 ・乗法の記号× ・倍概念の基礎 (配慮事項) ・乗法について成り立つ性質と、九九の構成	○乗法について成り立つ性質が九九だけでなく、10の段やさらに大きい数の乗法においても成り立つことを理解し、活用できることに気付かせ、一般的な決まりとしてとらえられるように進める。 ○ $a \times \square = b, \square \times a = b$ を取り上げ、除法の答えを見付ける際に九九を使うことになるのでその準備としてこの形式に慣れさせるよう進める。	第4学年 「わり算の筆算」 第5学年 「小数のかけ算」	
4	時こくと時間のもとのめ方 (1) 時こくと時間のもとのめ方 (2) 短い時間	B (3) アイ	4		小学校第1学年 「なんじなんぷん」 ・時計の読み方「何時、何時半、何時何分」 小学校第2学年 「時間の単位」 ・日・時・分 ・時刻と時間の概念	○時刻と時間の意味とその求め方、1分=60秒の関係をおさえる。そして、時間も長さやかさと同じ連続量であることを意識させて進める。	小学校第6学年 「分数のかけ算とわり算2」 ・時間の分数表示	
4 5	わり算 (1) 1人分の数をもとめる計算 (2) 何人に分けられるかをもとめる計算 (3) 何倍かをもとめる計算	A (4) アイウエ	11+1	除法はこの学年で初めて学習する内容であるので、乗法との関係なども考慮して、除法の意味理解を深め、習熟させる必要がある。	小学校第2学年 「かけ算 (1) (2)」 ・かけ算の意味と記号 ・単位量のいくつつ分 ・乗法の記号×	○今後の除法の基礎となるので、除法の意味理解(等分除、包含除)や計算方法について確実に理解させるよう進める。 ○乗法を「1つつ分の大きさ×いくつつ分=全体の大きさ」と意味付けると、「いくつつ分」を「倍」に置き換えることができることをおさえる。	第4学年 「わり算の筆算」 第5学年 「小数のわり算」	■わり算のお話作り 身近なことからの中からわり算になるような問題を作って、解きあいましょう。(商2位数、除数1位数) 作った問題について、なかま分けしましょう。(等分除、包含除) ■答えが同じになるわり算 ・ある数を7でわってから3をひき、でたその答えをさらに2でわる計算を、÷を+に見間違えて計算したため出てきた答えが69になりました。この計算の正しい答えを求めましょう。
5 6	円と球 (1) 円 (2) 球	C (1) ウ	8		小学校第1学年 「形遊び」 ・まる、ボールの形	○コンパスの使い方や、その機能を十分定着できるように進める。	小学校第4学年 ・ものの位置の表し方 小学校第5学年 「円と円周」	
6	たし算とひき算の筆算 (1) 3けたの数のたし算 (2) 3けたの数のひき算 (3) 大きい数の筆算	A (2) アイウ	10+1	2けたの場合の計算手順を生かし、3けた4けたになっても正確に答えが導き出せるよう、個に応じた指導が必要である。	小学校第2学年 「たし算とひき算の筆算」 ・2位数+1, 2位数=3位数の筆算 ・3位数-1, 2位数の筆算 ・十の位や百の位へ繰り上がる筆算の仕方 ・十の位や一の位に繰り下がる筆算の仕方	○既習の2位数の加減の筆算の原理や手順に従って3位数の場合も類推的に考え、発展的に理解させるよう進める。そして、4位数以上の場合も同じ手順でできるという拡張の考えを身につけさせるよう進める。	小学校第4学年 「小数」 ・小数のたし算とひき算(小数第2位)	■ 虫食い問題にチャレンジ $\begin{array}{r} 1 \square 9 2 \\ 2 9 \square 1 \\ 9 7 1 \square \\ + 2 \square 1 7 \\ \hline 1 7 5 9 2 \end{array}$

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年での学習事項	備考 ■実践例 ◆課題
6	暗算 [計算のしかたを工夫しよう]	A(2)イ	2					
7	考える力をのばそう ・図を活用した、重なりのある2つの長さの和の求め方		1					
7	あまりのあるわり算 (1) あまりのあるわり算 (2) あまりを考える問題	A(4)アイウ	8+1	乗法九九を1回適用して商とあまりを求めることは、つまずきの多い被除数が2,3位数の場合で、乗法九九を2回3回適用して商を求めることの基礎基本となるので、計算の意味理解と計算力を伸ばす活動に重点を置いて指導することが必要である。		○乗法九九を1回適用して商とあまりを求めることは、被除数が2,3位数の場合で、乗法九九を2回3回適用して商を求めることの基礎基本となるので、計算の仕方の理解と技能の徹底を図るよう進める。	小学校第4学年 「わり算の筆算(1)」 ・2, 3位数÷1位数の筆算形式 ・倍と除法の意味理解の拡張(倍の第一、三用法) ・1位数でわる除法の暗算 小学校第4学年 「わり算の筆算(2)」 ・2, 3位数÷2位数の筆算形式	■あまりの処理を考える問題 ・幅3.5cmの本立てに、あつさ4cmの本を立てます。本は何冊立てられますか。 ■あまりの処理を考える問題 ・カレンダーの秘密 カレンダーは7つの曜日にあわせて、1～31までの数字が並んでいます。カレンダーの数字の並び方には、いろいろな決まりがあります。縦に見たり横に見たりして決まりを見付けましょう。
8	大きい数のしくみ (1) 数の表し方 (2) 10倍した数と10でわった数	A(1)アイウ	10		小学校第2学年 「4けたの数」 ・10000までの数の数え方、命数法、記数法、構成、系列、順序、大小 ・10000までの数について、十進位取り記数法の理解を広げる。	○4位数までの数の仕組みをもとに、数の範囲を億まで広げ十進位取り記数法についての理解を深めさせるよう進める。 ○一万より上の数は「一万、十万、百万、千万」と万進法と十進法の組み合わせになっていることをおさえる。	小学校第4学年 「大きい数のしくみ」 ・億、兆の数の命数法、記数法 ・一億以上の数の構成、系列、順序、大小 ・十進位取り記数法 ・10倍、100倍した数、1/10、1/100した数	・
9	[かたちであそぼう] ・タングラムを用いた平面図形の操作活動		1					
9	かけ算の筆算(1) (1) 何十、何百のかけ算 (2) 2けたの数に1けたの数をかける計算 (3) 3けたの数に1けたの数をかける計算 (4) 倍の計算	A(3)アイウ	15+1	乗法の意味理解を深めるため、桁数が増えても乗法九九とたし算によって答えを求めることができるということをイメージすることが必要である。	小学校第2学年 「かけ算(1)(2)」 ・かけ算の意味と記号 ・単位量のいくつ分 ・乗法の記号× ・倍概念の基礎 乗法について成り立つ性質と、九九の構成	○乗法の分配法則をもとに筆算で計算すると、乗法九九とたし算によって答えが求められ、桁数が増えても同様に計算できることをアレイ図等を用いてイメージさせるよう進める。	小学校第4学年 「わり算の筆算(1)」 ・2, 3位数÷1位数の筆算形式 ・倍と除法の意味理解の拡張(倍の第一、三用法) ・1位数でわる除法の暗算 小学校第4学年 「わり算の筆算(2)」 ・2, 3位数÷2位数の筆算形式	■積の大きさ ・誰が1番大きいか ④、⑤、⑥のカードを1枚ずつ使ってかけ算の筆算を作ります。かけ算の答えが1番大きくなるのはどれでしょう。 $\begin{array}{r} 45 \\ \times 6 \\ \hline \end{array}$ $\begin{array}{r} 54 \\ \times 5 \\ \hline \end{array}$ $\begin{array}{r} 64 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$ $\begin{array}{r} 65 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$ $\begin{array}{r} 56 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$ $\begin{array}{r} 46 \\ \times 5 \\ \hline \end{array}$ ・⑤、⑥、⑦のカードを並べて私より大きくできるかな。 $\begin{array}{r} 75 \\ \times 6 \\ \hline \end{array}$
月	単元・指導内容	学習指導要領	時数	重点化の理由	下学年での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年での学習事項	備考

		の内容						■実践例 ◆課題	
10	[どんな計算になるのかな] ・加減乗除についての演算決定	A(2)(3)(4)	1						
10	大きい数のわり算	A(4)	2					第4学年 「 ・何十、何百、何千、何十何 ÷1位数	
10	長いものの長さのはかり方 (1) 長いものの長さのはかり方 (2) 長い長さのたんい	B(1)ア(2)	6		小学校第2学年 「長さのたんい」 ・ 普遍単位 mm cm m ・ 30cm、1mものさしの活用 ・ 任意単位による測定の問題点を解決するために普遍単位を導入し、普遍単位による測定の器具としてものさしを活用する。	○普遍単位を使い、長さを数値化して表すことの利便さに気付かせると共に、普遍単位の相互関係に着目し、目的に応じて単位を選択して用いることができるように進める。 ○1kmの量感作りの活動、距離測定器を使っての測定活動など体験的活動を通し、「量」に対する感覚を磨くよう進める。	小学校第4学年 「小数」 ・ 長さの小数表示 小学校第5学年 「平均」 ・ 長さの概測(歩測) 小学校第6学年 ・ メートル法の単位の仕組み		
10 11	小数 (1) はしたの大きさの表し方 (2) 小数のしくみ (3) 小数のたし算とひき算 (4) 小数のいろいろな表し方	A(5)アイ	12+1		小数はこれまでの整数の十進位取り記数法の考えを1より小さい数に拡張して用いるところに特徴がある。小数の場合は、整数とは逆に、ある単位大きさを10等分して新たな単位をつくり、その単位のいくつ分かで表している。小数の加減につながる単元なので、十進構造の意味理解を十分に図ることが必要である。	○小数の意味とその表し方について理解し、小数も整数と同じ十進構造になっていることをおさえる。 ○小数の加減も、位毎に計算することを、整数の場合と比較しておさえる。	小学校第4学年 「小数の加減」 ・ 小数第2位同士	■ 2段階の問題 ・ リンゴが17kg500gあります。けいこさんに1.4kgのリンゴをあげました。としこさんにもあげたので、残っているリンゴの重さが15kg200gになりました。としこさんにあげたりんごの重さは何kgだったでしょう。	
11 12	三角形 (1) 二等辺三角形と正三角形 (2) 三角形と角	C(1)アイウ	9			小学校第2学年 「長方形と正方形」 ・ 三角形、四角形 ・ 頂点、辺、面 ・ 直角、直角三角形	○図形の構成要素である辺の長さや角に着目して、二等辺三角形、正三角形の概念や性質を理解する。 ○図形の構成の仕方として、1、2、3と順に頂点を決めていく手順を基礎基本として理解させる。	小学校第4学年 「垂直・平行と四角形」 ・ 垂直平行の概念、かき方 ・ 台形、平行四辺形、ひし形の概念、性質、かき方	
1	分数 (1) 分けた大きさの表し方 (2) 分数の大きさの表し方 (3) 分数のたし算とひき算	A(6)アイウ	11+1		計算力向上させるため、分数の意味理解を図り、分数を適切に用いる能力を身に付けさせることが必要である。	小学校第2学年 「分数」 ・ 簡単な分数1/2、1/4等	○分数の意味とその表し方についておさえ、端数部分の大きさや、等分してできる部分の大きさなどを表すときに、分数を適切に用いる能力を身に付けさせるよう進める。 ○数直線をもとに、1/10を単位とした分数について、その大きさや小数との対応関係をおさえる。	小学校第4学年 「分数」 ・ 真分数、帯分数、仮分数の用語 ・ 分数の数直線表示 ・ 帯分数への変換	■ 折り紙分数クイズ ・ 折り紙を等分に折って、任意の部分に色を塗る。折り紙の面積を1とした時のその大きさを分数で表現する。同値分数にも目を向けさせる。 

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年での学習事項	備考 ■実践例 ◆課題
1	□を使った式 □	D(2)イ	3					
1	[考える力をのばそう] ・未知の数量を□として 問題場面を図に表し、□ の値を求めること	D(2)イ	1					
2	かけ算の筆算(2) (1) 何十をかける計算 (2) 2けたの数をかける計算 (3) 暗算	A(3)アイウ	12		小学校第2学年 「かけ算(1)(2)」 ・かけ算の意味と記号 ・単位量のいくつ分 ・乗法の記号× ・倍概念の基礎 ・乘法について成り立つ性質と、 九九の構成		小学校第4学年 「わり算の筆算(1)」 ・2, 3位数÷1位数の筆算 形式 ・倍と除法の意味理解の拡張 (倍の第一、三用法) ・1位数でわる除法の暗算 小学校第4学年 「わり算の筆算(2)」 ・2, 3位数÷2位数の筆算 形式	■加法を含む乗法 ・1人あたり赤いあめ12個、白いあめ 18個ずつあげます。25人にあげると すると、あめは全部で何個ありますか。 ■加法を含む乗法 ・3位数×3位数の計算の仕方を考えよ う 273×444
2	ぼうグラフと表 (1) 整理のしかた (2) ぼうグラフ (3) 表のくふう	D(1)アイ	9		小学校第2学年 「時計と表やグラフ」 ・簡単な事柄を表やグラフにする。 ・簡単な事柄を分類整理して、 一次元表やグラフに表し、それ らを読み取ることができる。	○統計的な処理の手順とよさにつ いておさえる。棒グラフの特性を知 り、その書き方、読み方を身に付け させるよう進める。	小学校第4学年 「折れ線グラフ」 ・折れ線グラフの特性 ・折れ線グラフの書き方、読 み方 小学校第5学年 「百分率とグラフ」 ・帯グラフ、円グラフ	
3	[かたちであそぼう] ・ペントミノの敷き詰めを 通した平面図形の考察	C(1)	1					
3	重さのたんいとはかり方 (1) 重さのくらべ方 (2) はかりの使い方	B(1)イエ(2)	9			○長さ、水のかさの学習同様、量の 保存性に基づき①直接比較②間接 比較③任意単位④普遍単位の段階 をおって学習を進めることで、量の 学習を一般的に捉えられるように 進める。	小学校第4学年 「小数」 ・重さの小数表示	
3	[考える力をのばそう] 等間隔に配置されたもの の数と、その間の数との関係 に着目して考える問題解決	D(2)ア	1					
3	そろばん	A(7)ア・イ	2					
3	[3年のふくしゅう]							
	合計		175					